

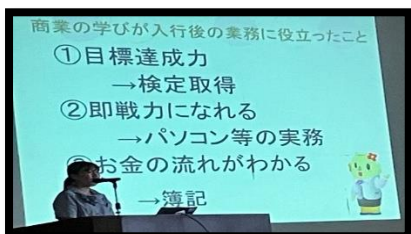


○夏越の祓え(なごしのはらえ)と水無月(みなづき)



夏越の祓えとは、半年の間に知らず知らずに身についた罪穢れ(つみけがれ)を落とし、残りの半年を心身共にすがすがしく、無事に過ごせるようにと祈願して行われる神事の一つで、6月30日に全国的に行われます。昔から、この日は氷に見立てたお菓子を作り、氷の代わりに食べることで暑気払いをしていました。それが、水無月と呼ばれる和菓子です。残り半年を元気で過ごせますように。

○延岡商業高校 全校集会 No2 外部講師による講話



令和6年6月20日に2回目となる全校集会が開かれ、今回は宮崎銀行 延岡営業部より濱上 梨花(はまうえ りんか)氏をお迎えし、講話をしていただきました。濱上様は、高校で商業を学び7種目1級や秘書検定1級など多くの資格を取得し、大学の商学部でさらに専門を深め、地域に貢献したいと宮崎銀行に入行して3年が経ちました。今でも、業務に必要な資格取得に挑戦していますが、高校での経験が今の自分を支えていますと力強く語っていただきました。

○トコトン!ボーイ、トコトン!ガール みつけた。(挑戦することを決めた生徒を紹介します)

3年生 M.Hさん 「スピーチコンテストと未来みやざきアイデアコンテストへの挑戦」

令和6年6月12日に宮崎市で行われた全商英語スピーチコンテスト県予選会において、M.Hさんは、スピーチの部で優秀賞(総合2位)に輝きました。優勝した生徒とわずかに3点差ということもあり、指導した先生方や周囲の喜びもひとしおでした。彼女は、小学生の頃より英語に興味があったようです。今回は英語スピーチ部門出場で、その原稿づくりから始まりました。内容は、今参加している「宮崎の産業を支える高校生協働活動事業」のワークショップ中で、高千穂町の企業の経営者から「いま隠れた名所を巡るツアーが世界中で流行っている。」と伺い、延岡の隠れた名所を探し出し、その場所を繋ぐ観光プランを提案できたら、外国から延岡市へのインバウンド需要が見込めるのではないかと考え「未来みやざきアイデアコンテスト」の柱にしました。その名所の一つに延岡市の港神社に青い鳥居があります。昭和40年代の初めごろに海の安全を守る神様だからということで船底の塗料に使われていた青色の塗料を塗ったことが始まりで、それ以降奉納されるたびに青く塗っているということです。また、日之影町には、天空の城ラピュタの苔(こけ)アートがあり、隠れた名所は、延岡市だけでなく県北全体に散在し、それを結ぶ観光プランを創りたいようです。驚いたのは、そのことをいきなり英文でまとめ、担当の先生に提出したところ、まずは、日本語で作成するように言われたようです。彼女は英文表現の方が容易で、それだけ英語が好きで身近なもの



になっているのです。彼女は、珠算電卓部にも所属し、ビジネス計算競技大会で3位に入賞し、全国大会出場を決めています。この夏、まだまだ挑戦が続きます。「やると決めたら トコトン!」でがんばってください。